



一本松まちづくりひろば

16

発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 米岡 美智枝

第8回（平成26年度）一本松まちづくり協議会 総会

第8回総会が5月18日（日）に一本松小学校図書室で開催され25年度の事業・会計報告と26年度の事業計画案・予算案が承認されました。第2部では男女共同企画センター横浜北課長常光明子氏に今までと視点の変わった防災力についての講演をしていただきました。

防災はあきらめない力（ちから）

～災害への不安を力に変えていく

わたしたちの7つの言葉～

- 1 生きのこる。何が何でも生き残ろう
- 2 非常時こそ、熱くならない
- 3 あきらめない。でも、頑張り過ぎない
- 4 他人の辛さや苦しさを否定しない
「非常時だから我慢しろ」とは決して言わない
- 5 非常時には女性なり男性なりの不自由さ、違いがある。お互いに尊重しあおう
- 6 避難所運営やまちとくらしの復興に女性の参画をどんな経験もいかしていこう
- 7 もしもの時に頼れるのは、いつもの人間関係
今のときから人の縁を大切にしていこう
一ヨコハマ女性と防災市民企画委員会一



氏提供のパンフレットより

あなたの防災力をチェック！

- 地域の避難場所を知っています
- 我が家は地震対策をしています
- 就寝時には着替と履物を用意しています
- 自分なりの防災グッズを用意しています
- ご近所に顔見知りの方がいます
- 家族との連絡方法を決めています
- 災害用伝言ダイヤルを試してみました

先進事例・施設見学を積極的にしています



国営防災センター「そなエリア」での掲示より

平成26年度も「減災」を目標に活動します

- ❖ 主要避難路・階段の整備等を進めます。
- ❖ 地域に呼びかけ先進事例・防災減災施設見学を実施します。
- ❖ 地域の防災減災意識を高めるための講演会・研修会を開催します。
- ❖ 引き続き防災マップを使った町内まち歩きを開催します。
- ❖ 10月18・19日に実施したステップキャンプで習得した技術の普及に努めます。
- ❖ 地域にまちづくり協議会が、更に理解してもらえる様に努めます。



電線の無い筑地堀の風景



まち中にある
消火器納入箱

まちづくりの勉強が始まって10年目を迎えました。今までご指導をいただいた皆様へ感謝いたします。2月14日（土）「10年振り返りの会」を開催いたします。詳細は後日お知らせいたします。

防災、はじめよう！親子で体験

《 防災カステップアップキャンプ 》

平成26年10月18～19日 野毛山公園・芝生広場にて開催しました。

キャンプの知恵は、そのまま災害時のいざという時に役立つものばかりです。野毛山公園で、普段は絶対にできないキャンプのあれこれを楽しみながら、防災力をステップアップしましょう！



秋晴れのさわやかな天候に恵まれた野毛山公園・芝生広場に一本松まちづくり協議会役員及び西戸部二丁目第一自治会、羽沢西部自治会の両2自治会有志が集いました。(行政の方も応援頂きました) キャンプのプロの方々指導のもと《防災カステップアップキャンプ》開始です。

ハンモック体験



ハンモック体験

大人、子供、年配の方と年齢の隔てなく大好評でした。風にまかせて静かにゆれる感じが、とても心地よく心身に安らぎました。
※79名体験

湯沸かし体験



ケリーケトルで湯沸し体験 牛乳パックや松ぼっくりを燃料にして湯沸し、数分で水が沸騰しました。※73名体験

飲み水ろ過体験



浄水器を使って飲み水ろ過体験 泥水がきれいな水へ変身！※16名体験

焚火体験



トイレ体験



トイレ体験

小さめのミカン箱にごみ袋をかぶせて、簡易のトイレを作ります。設置場所や遮蔽など、いろいろと考えなければならぬ事柄があります。あなたは、どう考えますか？
※52名訪問

ジップロックを使用したパスタ・炊飯体験



簡単調理体験 パスタはあらかじめジップロック内で水に浸しておきます。(90分)1分ゆでると食べられます。お米も水を入れて20分沸騰したお湯にひたします。パスタもご飯も、とてもおいしかったです！※パスタ52名・炊飯49名体験

テント・宿泊体験



テント・宿泊体験 テントの設営から始まりました。宿泊は快適で爆睡です。 ※3名体験

火燧し・焚火体験

なかなか出来ない体験です。自分で焚き付ける材料を探して着火、少しずつ大きな火にして行きます。皆真剣に楽しく体験しました。マッシュマロが熱かった！ ※51名体験



野毛山公園からの朝焼け

先進事例見学会報告「施設見学会」

一本松まちづくり協議会 年間事業計画に基づき 題記の先進事例見学会を実施しました。

実施日：平成 26 年 7 月 13 日(日) バス利用

コース：一本松小学校～東京都臨海広域防災公園「そなエリア」～密集住宅市街地整備促進
事業「台東区〔岸根・谷中地区〕防災広場「初音の森」

参加者：36 名（行政＋近隣地域の方含む）



ガイドさんの説明を真剣に聞く参加者



新旧入混じり活気ある商店街 谷中地区



東京都臨海広域防災公園入り口「そなエリア」前 全員集合

一参加者の感想・アンケート一

- ・防災について考えさせられた
- ・防災の基本は、各自の責任
- ・自助、互助、共助をより知った
- ・「今買えば蓄蓄、発災後は買占」意味が良く解った
- ・紙上でなく現地に触れてより理解出来た
- ・国レベルの施設を見学出来、防災を再認識した
- ・説明が解り易く内容が良く理解できた
- ・谷中の寺の活用が印象的 新旧の融合

編集後記：平成 26 年度初の「まちづくりひろば」発行になりました。新しい試みのイベントの取り組み等、チャレンジしました。今後、更なる前進をする為、皆さんの参加と支援をお願い致します。